

第 54 回環境工学研究フォーラム
(11 月 17 日金曜～19 日日曜、岐阜大学)

企画セッション案

「人口減少社会における環境工学の展開」

1. 趣旨

わが国の人口は、2004 年 12 月に 1 億 2784 万人のピークに達し、その後減少に転じた。すでに人口減少社会に入って 10 年以上が経過したことになる。そしてわが国は、人口が急速に縮小していく世界最初の先進国であるとも指摘されている。

この状況下にあって、上水道、下水道、廃棄物などの環境関連施設・事業はさまざまな影響を受けつつあるが、それらに類似点や相違点はみられるだろうか？ 今後はどのような道を選択すべきであろうか？ また、従来対象としてきた環境問題の前提は、今後いかに扱っていけばよいのだろうか？

本セッションでは、上水道分野、下水道分野、廃棄物分野からパネリストを迎え、まず、各分野の動向や、ハード面・ソフト面での課題を論じていただく。その後、下記にリストアップする論点についてパネルディスカッションを行う。これによって、各分野相互の協力関係を構築することが必要であるとの認識の形成、技術ニーズと必要な技術開発・研究内容の抽出、環境工学としての方向付けを目指す。

2. セッション構成

コーディネーター：伊藤禎彦

パネリスト：上水道分野

京都大学 伊藤禎彦

下水道とその周辺分野 北海道大学 船水尚行

廃棄物分野 国立環境研究所 稲葉陸太

パネルディスカッション：以下の項目について議論を行う

- 1) 上水道、下水道、廃棄物分野の現状に関する情報交換
- 2) 各分野の見通しと課題の認識
- 3) 技術ニーズと必要な技術開発・研究
- 4) 制度上の課題、行政的対応策
- 5) 都市・地域計画との関連
- 6) 環境問題としての扱い方

3. 日時、タイムスケジュール

日時、場所：11月18日土曜日 午後
岐阜大学

趣旨説明：5分

パネリスト発表：18分×3人=54分

パネルディスカッション：40分（論点説明を含む）

合計 100分（程度）

4. 提案者

幹事長 京都大学 伊藤禎彦

臨床環境技術小委員会委員長 北海道大学 船水尚行

連絡先：伊藤禎彦

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 CクラスターC1棟

電話：075-383-3254、E-mail：itoh@urban.env.kyoto-u.ac.jp